

南大東島地方気象台長からのメッセージ

南大東島地方気象台のホームページをご利用頂きありがとうございます。

「平成 30 年 7 月豪雨」では、西日本から東海地方を中心に広範囲において記録的な豪雨となり、過去最多となる 11 府県に大雨特別警報が発表されるなど、甚大な被害が発生しました。今回の豪雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、今年は台風が早い時期から多く発生し、7 月末現在で 12 個発生（例年 8 個）、しかも大東島地方への接近も多くなっています。春先に心配された少雨も台風の接近により、7 月の降水量は、200 ミリを越え平年の約 2 倍となりました。大東島地方は、一連の台風による大きな被害は無く、また水不足で農作物への影響が心配されたところでしたが恵みの雨になったかと思えます。しかし、これからが本格的な台風シーズンです。

気象台では、台風に備え南大東村、北大東村とともに、台風の接近及びその後の避難勧告発令に至るまでを想定した訓練を毎年実施しており、今年も 7 月 11 日に行いました。この訓練では、台風の接近に伴って刻々と悪化する天候のイメージを気象台と村役場で共有し、防災配備や避難勧告等の発令までの一連の防災対応を行い、お互いの連携を確認しました。また、訓練の中では、気象台長から村長に対して災害発生に迫る気象状況になっているという危機感を伝えるホットラインによる連絡も行っています。

【南・北大東村との防災訓練の様子】



左：防災気象情報の提供（気象台）、中央：対応の検討（南大東村役場）、右：避難勧告の発令

このように気象台では、南大東村、北大東村や関係機関と連携し、住民の皆さんの安心・安全に資するための取り組みを進めており、引き続き、地域住民の皆さんに信頼される気象台として、地域防災に貢献していきたいと思えます。今後も台風接近等の異常時には、気象台が発表

する各種防災気象情報および村からの避難情報等に留意して早めの避難等、安全確保の行動を取るようお願いします。

最後に、暑い日は、まだまだ続きます。气象台では、最高気温 33℃以上を予想した場合「高温注意情報」を発表し、村役場の方からは防災無線を通じて注意を呼び掛けて頂いています。室外での作業・運動はもちろんのこと、室内で過ごされる場合でも、熱中症予防にも十分注意するようお願いします。

今後共よろしく申し上げます。

平成 30 年 8 月 1 日

南大東島地方气象台長 安齊 良悦